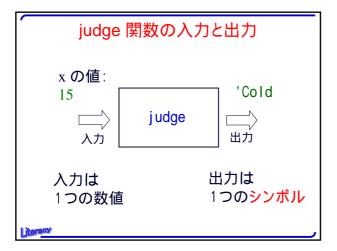
```
第5回
種々のデータと構造体
情報処理演習II
```

```
様々のデータ
単純データ
  数值
               number
                        · · · 数值情報
  ブール値
               boolean
                        · · · true/false 値
  シンボル
               symbol
                        ・・・ 記号情報
 文字列
               string
                        ・・・ 文字列情報
合成データ:
  構造体
 1. ユーザが自ら定義した構造体
 2. DrScheme に組み込み済みの構造体: posn など
- リスト
```

例題



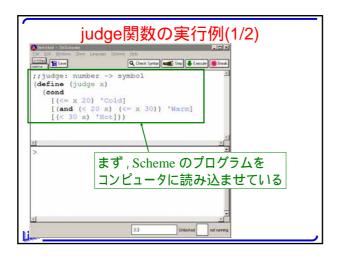


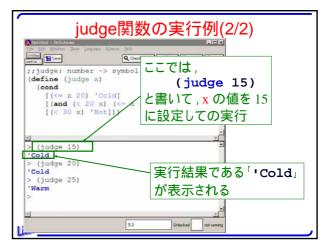
```
judge 関数
「関数である」ことを
示すキーワード 関数の名前

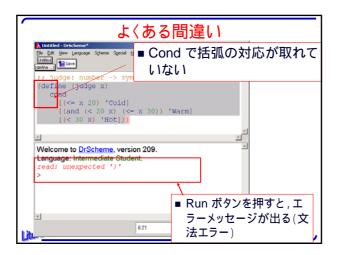
;; judge: number -> symbol
(define (judge x)
  (cond
  [(<= x 20) 'Cold]
  [(and (< 20 x) (<= x 30)) 'Warm]
  [(< 30 x) 'Hot]))

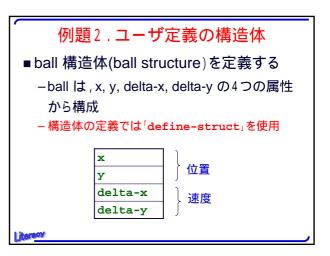
iterex

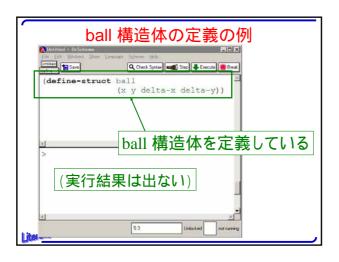
値を1つ受け取る(入力)
```

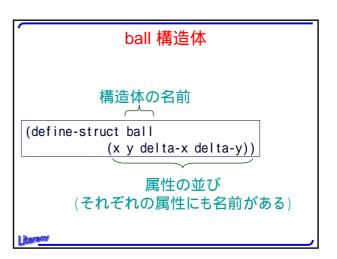




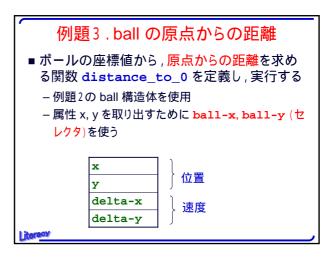








Ball 構造体 名前 属性の並び (define-struct ball (x y delta-x delta-y)) make-ball: (number number number number -> ball) コンストラクタ ball-x: (ball -> number) ball-y: (ball -> number) ball-delta-x: (ball -> number) ball-delta-y: (ball -> number) ball-: (anything -> boolean) ball 構造体がを調べる



```
distance_to_0 関数の入力と出力

a-ball の値:
(make-ball 3 4 0 0)

distance_to_0 
人力

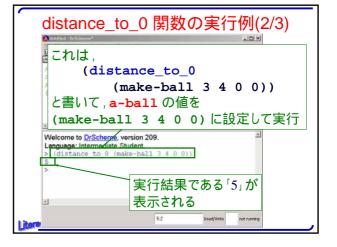
人力

人力は ball 構造体

出力は数値
```

```
distance_to_0 関数の実行例(1/3)

| Maintain Production | Speed | S
```

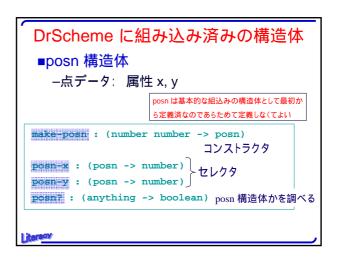


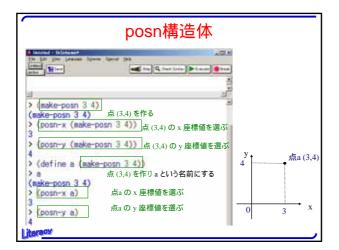
```
distance_to_0 関数の実行例(3/3)

これは、
(distance_to_0
(make-ball 3 4 0 0))
と書いて、a-ball の値を
(make-ball 3 4 0 0) に設定して実行

Welcome to Discheral version 209.
Language Intermediate Student
(distance to 0 (make-ball 3 4 0 0))

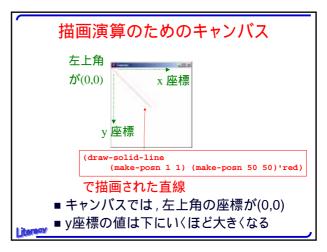
ポイント
コンストラクタを使い、
構造体のデータを生成している
```





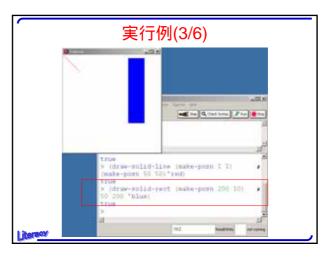




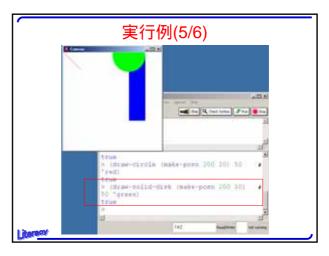




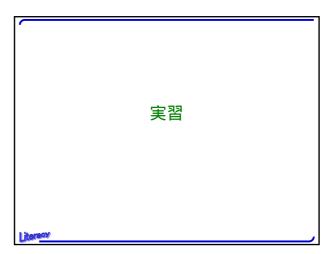












実習の進め方

- 資料を見ながら、「実<mark>習」</mark>を行ってみる
- その後、各自「課題」に挑戦する
 - 各自で自習 + 巡回指導
 - 遠慮な〈質問して〈ださい
- 自分のペースで先に進んで構いません

teracy

DrScheme の使用

■ DrScheme の起動

プログラム PLT Scheme DrScheme

■今日の実習では「Intermediate Student」 に設定

Language

Choose Language

Intermediate Student

OK ボタン

l iteracy

DrScheme の使用 / ステップ実行

- プログラム実行の振る舞いを観察するツール
- ■「定義用ウインドウ」のみを使用 (通常の実行と異なる)
- ■「Intermediate Student」に設定する必要あり

Language Choose Language Intermediate Student Run ポタン

HeraC)

draw.ss teach pack のロード

■ DrScheme の描画機能である draw.ss teachpack を使うために ,

draw.ss teachpack をロードせよ

この操作は1回だけでよい (次回からは自動的にロードされるよう になる)

Literac

実習1.数値かシンボルを出力

■ X の値から,数値あるいはシンボルを出力する 関数 ast を定義し,実行する

> x > 0 ならば: x の値を出力する x 0 ならば: 「'*」を出力する

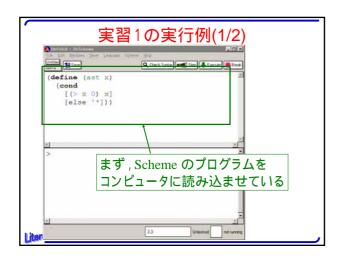
iteracy

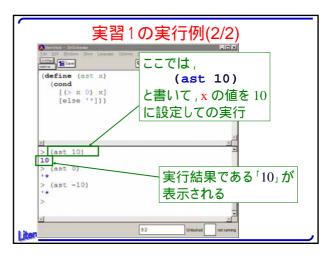
```
「実習1.数値かシンボルを出力」の手順

1. 次を「定義用ウインドウ」で、実行しなさい
・ 入力した後に、Run ボタンを押す

;; ast: number -> number or '*
(define (ast x)
  (cond
       [(> x 0) x]
       [else '*]))

2. その後、次を「実行用ウインドウ」で実行しなさい
  (ast 10)
  (ast 0)
  (ast -10)
```





```
ast 関数
「関数である」ことを
示すキーワード 関数の名前

;; ast: number -> number or '*
(define (ast x)
  (cond
  [(> x 0) x]
  [else '*]))

値を1つ受け取る(入力)
```

```
実習 2 . ステップ実行

■ 関数 distance_to_0 の実行過程

- (distance_to_0 (make-ball 3 4 0 0)) から 5 に至る過程を見る

- DrScheme のステップ実行機能を使用する

- (distance_to_0 (make-ball 3 4 0 0)) (sqr (ball-x (make-ball 3 4 0 0))) (sqr (ball-y (make-ball 3 4 0 0)))) (sqr (ball-y (make-ball 3 4 0 0))))) (sqr (ball-y (make-ball 3 4 0 0))))) = (sqrt (+ (sqr 3) (sqr (ball-y (make-ball 3 4 0 0))))) = ... = (sqrt (+ 9 (sqr (ball-y (make-ball 3 4 0 0))))) = (sqrt (+ 9 (sqr 4))) = ... = (sqrt (+ 9 16)) = (sqrt 25) = 5
```

```
「実習2.ステップ実行」の手順

    次を「定義用ウインドウ」で、実行しなさい

            Intermediate Student で実行すること
            入力した後に、Run ボタンを押す

                                                   例題3と同じ
   (define-struct ball
       (x y delta-x delta-y))
distance_to_0: ball -> number
    ;; to compute the distance of a ball
    ;; to the origin
    ;; (distance_to_0 (make-ball 3 4 0 0)) = 5 (define (distance_to_0 a-ball)
        (sqrt
            (+ (sqr (ball-x <mark>a-ball</mark>))
   (sqr (ball-y a-ball)))))
(distance_to_0 (make-ball 3 4 0 0))
2. DrScheme を使って, ステップ実行の様子を
                                           ステップ実行したい
  確認しなさい (Step ボタン, Next ボタンを使用) ので、定義用ウインドウ
   理解しながら進むこと
                                           だけを使う
```

```
実習3.personal_info 構造体
personal info 構造体の定義
               構造体名
                          フィールド名の並び
(define-struct personal_info (name age address))
上記の定義によって以下が使えるようになる
■ コンストラクタ
  (make-personal info 値 値 値)
                              personal_info
■ ヤレクタ
                               name
  (personal info-name ...)
  (personal_info-age ...)
                               age
  (personal_info-address...) フィールド
 personal_info かを調べる
                               address
  (personal_info? ...)
```

```
「実習3. personal_info 構造体」の手順

1. 次を「定義用ウインドウ」で、実行しなさい
・ 人力した後に、Run ボタンを押す

(define-struct personal_info (name age address))

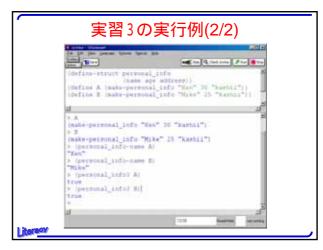
2. 次を「定義用ウインドウ」で、実行しなさい
・ 入力した後に、Run ボタンを押す

(define A (make-personal_info "Ken" 30 "kashii")) (define B (make-personal_info "Mike" 25 "kashii"))

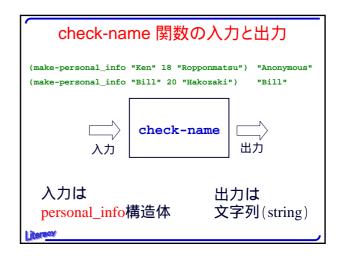
3. その後、次を「実行ウインドウ」で実行しなさい

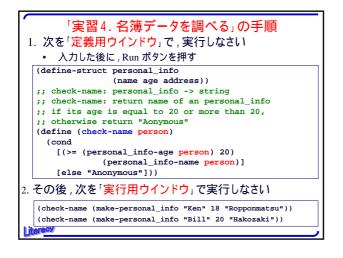
A
B
(personal_info-name A) (personal_info Pame A) (personal_info Pame B) (personal_info Pame B)
```





実習 4. 名簿データを調べる ■ personal_info 構造体を入力とし,成人なら name を答え,未成年なら「"Anomymous"」を 答える関数check-nameを定義し,実行する - personal_info 構造体データの age フィールド を調べ 20歳以上なら name フィールドデータを答 え、20歳未満なら「"Anonymous"」と答える personal_info | personal_info | name | age | address | addre







```
実行例

personal_info 構造体のコンストラクタ
make-personal_info を使っている

wekeome to Distance whom personal info

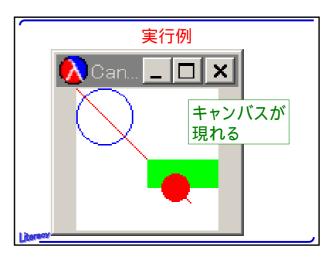
personal info を使っている

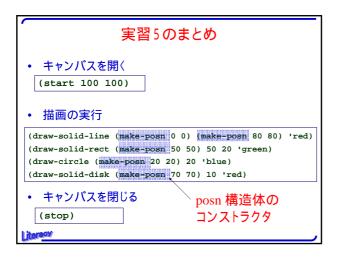
| Company | Co
```

実習 5. 簡単な絵を描く DrScheme の描画機能(draw.ss teachpack)を使って,簡単な絵を描く start: 「描画用ウインドウ」を開く draw-solid-line: 線 draw-solid-rect: 四角形 draw-solid-disk: 塗りつぶされた円 clear-solid-disk: 一度描いた「塗りつぶされた円」を消す draw-circle: 円 stop: 「描画用ウインドウ」を閉じる Litereの/





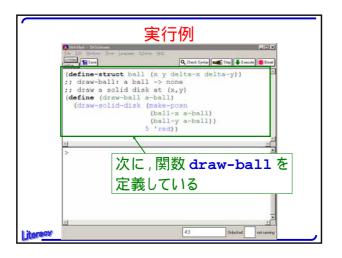


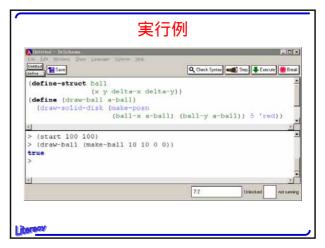


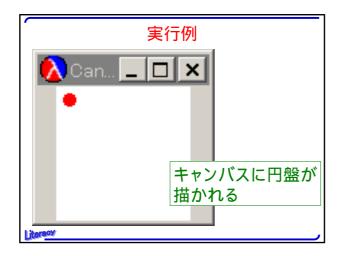


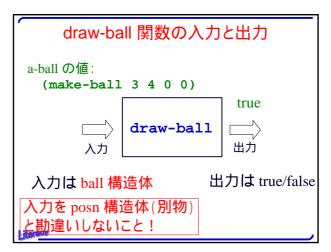


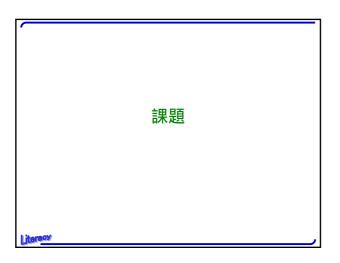












課題1 ■ 最高気温 high と最低気温 low から, 真夏日, 夏日, 冬日, 真冬日を判定する関数 summer-winter-day を定義し, 実行結果を報告しなさい ー "Tropical Day" (真夏日, 1日の最高気温が30度以上の日) ー "Summer Day" (夏日, 1日の最高気温が25度以上の日) ー "Frost Day" (冬日, 1日の最低気温が0度未満の日) ー "lce Day" (真冬日, 1日の最高気温が0度未満の日)

課題2

- ある年 y のある月 m のある日 d が存在するかを調べ,存在すれば d を,存在しなければシンボル「'*」を返す関数を定義し,実行結果を報告しなさい
 - 例えば.

2005 10 10 10 を出力 2005 10 0 '* を出力 2005 10 32 '* を出力

iters()

課題4

- 関数 distance_to_0 についての問題
 - (distance_to_0 (make-ball 4 3 1 1)) から 5 が得られる過程の概略を数行程度で説明しなさい

課題5

- personal_info 構造体についての問題
 - 構造体 personal_info 型のデータ a_person の 年齢(age)が20以上ならば「'Adult」を,20未満なら「'Child」を出力する関数 check-age2 を定義し, 実行結果を報告しなさい
 - 2. 構造体 personal_info 型のデータ a_person の 年齢(age)が20以上ならば true を,20未満なら false を出力する関数 check-age1 を定義し,実 行結果を報告しなさい

iteracy/